

第184期報告書

2021年1月1日 - 12月31日



株主のみなさまへ／長期構想 SIC27	1
業績ハイライト	3
当期の概況	4
事業別活動報告	5
グループトピックス	9
CSR／サステナビリティ	10
連結財務諸表の要旨	11
会社情報	12
株式情報	13

株主のみなさまへ



株主のみなさまにおかれましては、平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がまだ猛威を振るっている状況ではございますが、Withコロナの時代を見据え、新常态に役立つ提案を構想し新事業への挑戦に取り組んでいます。

東洋インキグループでは中期経営計画“SIC-II”において3つの方針を打ち立て実施しておりますが、「事業の収益力強化」の方針の中で、高付加価値製品群を強化しています。「重点開発領域の創出と拡大」については環境調和型製品に注力し売上が伸長しています。さらに「持続的成長に向けた経営資源の価値向上」については加速するデジタル化が新たに生み出す新市場に対して製品やサービスを提供し、新たなビジネスモデルを作っています。

2021年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されてきたものの、変異株の影響もあり、先行きが依然として不透明な状況が続きました。また、当企業グループの事業環境におきましては、原材料の供給面での制約や価格高騰の継続により企業活動に大きな影響がありました。

このような状況のなかで東洋インキグループは、これらに対応するとともに、前述の3つの方針の実現に着実に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は増収となりました。うえ、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はそれぞれ増益になりました。

なお、当社は本年3月23日開催の第184回定時株主総会において株主のみなさまのご承認を得て、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行いたしました。

経営の公正性・透明性を高め、取締役の監督機能を強化し、前述の3つの方針の実現を一層推し進めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも末永くご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年3月

代表取締役社長 高島 悟

私たち東洋インキグループは、
世界にひろがる生活文化創造企業を目指します。

長期構想 SIC27

企業活動コンセプト

Scientific Innovation Chain 2027

科学的に実行する×革新的に発想する×それぞれの活動を連鎖させる

提供価値

For a Vibrant World

すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存・共生する世界の実現

中期経営計画「SIC-II」

◎目指す姿

新たな時代に貢献する生活文化創造企業

◎重点開発領域の創出と拡大



◎事業の収益力強化

戦略的な高収益事業群の形成
低収益事業の再編・改革・撤退

◎持続的成長に向けた
経営資源の価値向上
(企業体質の変革)



2023年
計数目標

売上高
3,000億円
営業利益
220億円

2020年

売上高
2,577億円
営業利益
129億円

SIC-I

2018-2020

挑戦を繰り返す

SIC-II

2021-2023

新しい成果を積み重ねる

SIC-III

2024-2026

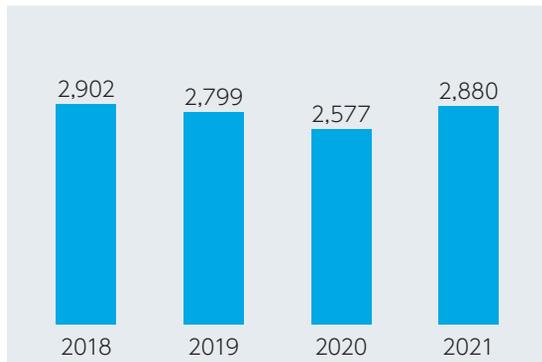
持続可能な企業体質
を創り上げる

業績ハイライト

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

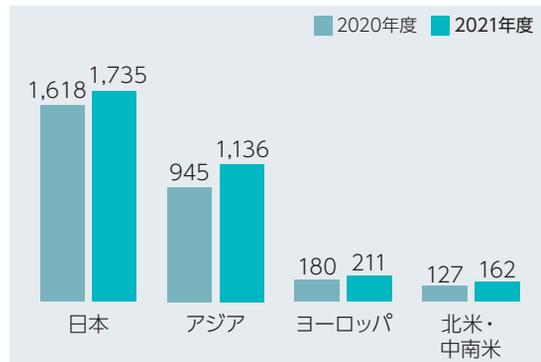
売上高推移

単位：億円



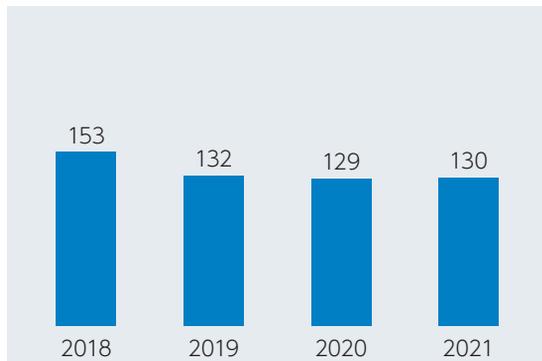
所在地別売上高

単位：億円



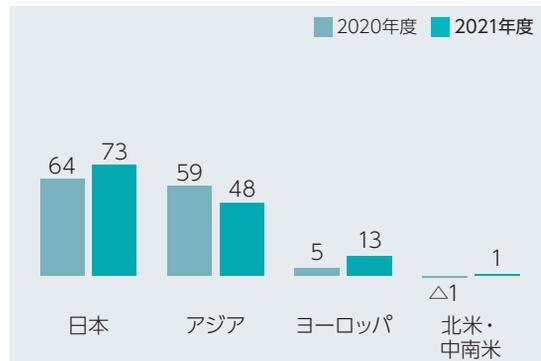
営業利益推移

単位：億円



所在地別営業利益

単位：億円



親会社株主に帰属する当期純利益推移・ROE

単位：億円



注. 本報告書の2018年度数値におきましては、当社の連結子会社において決算訂正を行ったため、過年度決算訂正を反映させております。

▶▶▶ 事業の収益力強化

液晶ディスプレイカラーフィルター用材料では好調な市場需要を背景に中国や台湾市場での拡販を進めるとともに、パッケージ向けのリキッドインキおよび接着剤をアジア市場中心に拡大しました。海外拠点での生産能力向上として、中国に建設した新工場の稼働を開始しましたことに加え、米国やインドでも粘着剤の新製造設備を立ち上げました。また競争力強化のための事業再編として、ポリマー・塗加工関連事業ではトーヨーケム株式会社と東洋アドレ株式会社を合併することでグループ内の粘接着関連技術を融合し、色材・機能材関連事業ではトーヨーカラー株式会社でインクジェットインキ事業の顔料合成からインキまでの一貫開発体制を構築しました。一方、欧州および東南アジアでのプラスチック用着色剤事業の不採算拠点撤退や、国内で印刷・情報関連事業の構造改革などにも取り組み収益基盤の改善も図りました。

▶▶▶ 重点開発領域の創出と拡大

3つの注力領域を掲げており、「サステナビリティ・サイエンス」では世界的な電気自動車の普及を見据え自動車4大市場(欧州・米国・中国・日本)に向けた車載用リチウムイオン電池材料の供給体制構築が進み、北米および欧州拠点でも生産を開始しました。また、再生可能な植物由来原料を用いたバイオマスインキや水性インキなどの環境対応製品の開発も進めました。「コミュニケーション・サイエンス」では、5G通信向け機能性フィルムの開発・販売を好調に進めましたうえ、自動運転のキー技術となるミリ波レーダー向けの電波吸収コンパウンドなど次世代ニーズに向けた新製品の開発を行いました。「ライフ・サイエンス」では、高透湿粘着剤や低皮膚刺激性粘着剤などヘルスケア向けのポリマー製品を展開しましたほか、貼付型医薬品事業拡大のため医薬品新工場を着工しました。またこれらの重点領域における中期的な開発を加速するため中核事業会社に新たな研究所体制を構築しました。

▶▶▶ 持続的成長に向けた経営資源の価値向上

DX(デジタルトランスフォーメーション)を引き続き推進し、特にデジタルマーケティング、MI(マテリアルズ・インフォマティクス)、スマートファクトリー化などの施策に注力しました。またESG(環境・社会・ガバナンス)に対する社会的要請の高まりに応えるべく、持続可能な社会の実現に向けたサステナビリティビジョン「TSV2050/2030」を策定し、定量的な環境負荷低減KPIも設定しましたことに加え、社外取締役の増員、役員報酬の業績連動性を高めることなどにより企業ガバナンスを強化しました。これらESG関連を含めたあらゆる企業活動について全てのステークホルダーへ適切に開示を行うため統合報告書の発行を開始しました。

色材・機能材関連事業

色材のリーディングカンパニーである当社グループにとって、有機顔料の合成技術は原点の一つ。ナノレベルの分散技術は、液晶ディスプレイ用材料やレジストインキ、カーボンナノチューブなどにも展開されています。

中核事業会社：トヨーカラー株式会社

◇主な製品 有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、カラーフィルター用材料、インクジェット材料など



■ 当期の概況

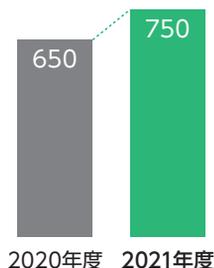
高機能顔料や液晶ディスプレイカラーフィルター用材料は、外出自粛に伴いテレビやタブレット、パソコン用のディスプレイ向けに需要が好調でした。台湾や中国での拡販も進みました。

汎用顔料は、リキッドインキ用は堅調に推移しましたが、情報系印刷インキ用は低調が続いたことに加え、原材料価格高騰の影響も受けました。インクジェットインキは、中国や欧米など海外を中心にデジタル印刷需要が堅調に推移しました。

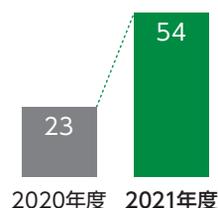
プラスチック用着色剤は、日用品や容器向けが好調でしたほか、欧州や東南アジアの不採算拠点からの撤退により採算改善が進みました。また、原材料価格の上昇を受けて販売価格の改定も進めさせていただいております。

車載用リチウムイオン電池材料は、米国の拠点を立ち上げ、現地生産を開始しました。

売上高推移
(単位：億円)

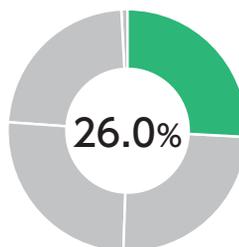


営業利益推移
(単位：億円)

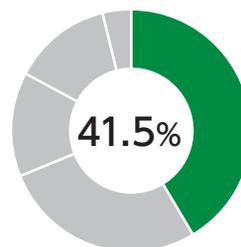


2021年度

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

ポリマー・塗加工関連事業

樹脂（ポリマー）を素に、合成や塗加工の技術を生かし、自動車やエレクトロニクスの分野、太陽電池などのエネルギー分野、メディカル・ヘルスケア分野などで多くの機能性製品が採用されています。

中核事業会社：トーヨーケム株式会社

◇主な製品 缶用塗料、樹脂、接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、メディカル製品など



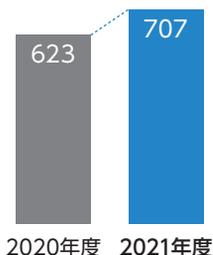
■ 当期の概況

塗工材料は、スマートフォン向けに導電性接着シートや電磁波シールドフィルムが拡大したうえ、液晶パネルや自動車向けの耐熱微粘着フィルムも好調に推移しました。

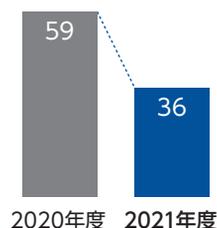
接着剤は、スナックやペットフード向けなど包装用が堅調に推移し、粘着剤もラベル用や偏光板用が国内外で伸長しました。一方で、世界的な原材料の調達難や急激な価格高騰が継続しており、コスト削減や販売価格の改定を進めさせていただいているものの、利益は大きく圧迫されました。

缶用塗料は、国内では巣ごもり需要の取り込みや新製品の拡販により、飲料缶用が堅調に推移し、海外でも中国やタイで需要が回復したものの、原材料価格高騰の影響を受けました。

売上高推移
(単位：億円)

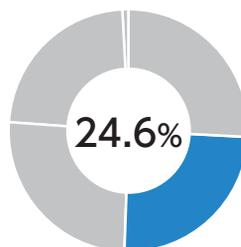


営業利益推移
(単位：億円)

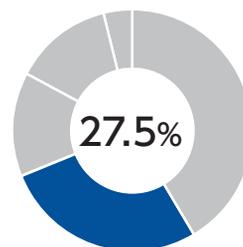


2021年度

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

パッケージ関連事業

パッケージの製造工程に多様な高機能製品を提供。安心・安全が求められる食品包装の分野では、インキや接着剤の水溶性化、無溶剤化などを進め、また、サステナブルな社会をめざし、バイオマス製品の開発も行っています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 グラビアインキ、フレキシオンキ、
グラビアシリンダー製版など

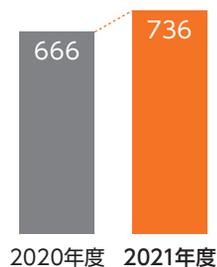


■ 当期の概況

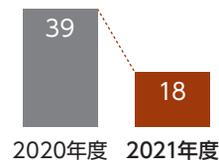
リキッドインキは、国内では、外出自粛に伴いお土産や衣料品の紙袋向けが低調でしたが、冷食や麺類等の家庭用食品向けが堅調に推移しましたうえ拡販も進み、建装材用も需要が回復しました。海外でも、東南アジアでの食品包装用の需要が堅調でしたうえ、中国やインド、中東でも好調に推移しました。一方、世界的な原材料の調達難や価格高騰が継続しており、販売価格の改定を進めさせていただいておりますが、利益面で大きく影響を受けました。

グラビアのシリンダー製版事業は、エレクトロニクス関連の精密製版が堅調で、軟包装や紙器関連の包装用も回復しました。

売上高推移
(単位：億円)

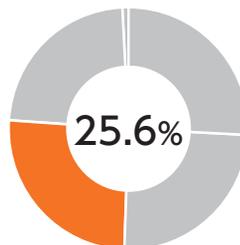


営業利益推移
(単位：億円)

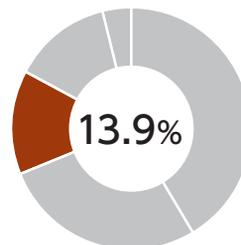


2021年度

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

印刷・情報関連事業

当社グループの原点であり、重要な基盤事業の一つ。顔料や樹脂から最終製品までを一貫生産できる強みを生かし、環境調和型や高機能など多様な製品を開発。印刷工程での標準化サポートなどのソリューションも提供しています。

中核事業会社：東洋インキ株式会社

◇主な製品 オフセットインキ、金属インキ、印刷機械、印刷機器、プリプレスシステム、印刷材料など

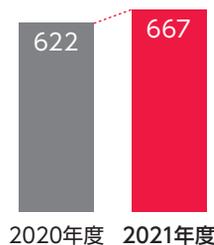


■ 当期の概況

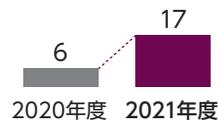
情報系印刷市場の構造的な縮小が、新型コロナウイルスの感染拡大と長期化、経済活動の制限でさらに進み、国内ではチラシや広告、出版向けが低調でしたが、同業他社との協業やコストダウン、原材料価格上昇に対する販売価格への一部転嫁など、事業体質の改善が進みました。

海外では、中国やインドで需要が回復しましたほか、食品や医療品などの紙器向けが堅調に推移しました。また需要に合わせて、グローバルでの供給体制最適化や、各拠点の事業体制再構築にも取り組みました。

売上高推移
(単位：億円)

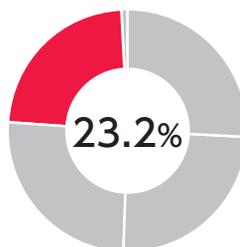


営業利益推移
(単位：億円)

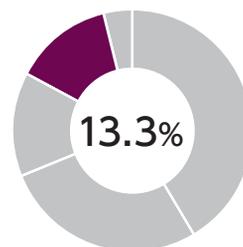


2021年度

売上高構成比



営業利益構成比



記載金額は億円未満を四捨五入しています。
各事業の売上高・営業利益の金額は、事業間の取引を控除していません。

東洋インキSCホールディングスと東京工業大学、 「東洋インキグループ協働研究拠点」を設置

東洋インキSCホールディングスと国立大学法人東京工業大学は、2022年1月13日、環境・IT・バイオ分野に関する先端研究を推進する「東洋インキグループ協働研究拠点」を、東京工業大学オープンイノベーション機構の支援のもと設置いたしました。



東洋インキSCホールディングス
代表取締役社長 高島 悟

東京工業大学
学長 益 一哉

環境・IT・バイオの先端研究を推進

東洋インキグループ協働研究拠点では、東京工業大学が保有する幅広い領域における高度な学術的知見と、東洋インキグループが蓄積した顔料・樹脂合成をはじめとする種々の低分子・高分子合成技術や微細分散技術等を融合することで、個別研究では困難であった包括的かつ総合的な研究開発を推進し、新たな価値を持つ新規機能性材料と産業応用に向けた技術の創生を進めます。

地球規模の環境問題解決に向けた次世代電池開発やCO₂活用の推進、デジタルテクノロジーの発展に貢献するIT関連材料技術の開発、次世代の医療技術につながるバイオテクノロジーの追求に取り組み、新たな時代

に求められる価値の創造に挑戦します。さらに、相互の研究者の交流をベースとした研究開発ネットワークを構築し、次世代の先端研究および産業技術分野の発展を担う人材育成を図ります。

東洋インキグループは、東京工業大学との最先端の科学技術分野における共同研究により、サステナブル、コミュニケーション、ライフの3つのサイエンス領域で革新的なテクノロジーを生み出していきます。このテクノロジーを製品開発に活かし、世界の人々の健やかで快適な暮らしの実現に寄与することで、化学メーカーとしての社会貢献を行ってまいります。

グローバルな気候変動に 企業として対応する

TCFD 提言への賛同

東洋インキグループは、2020年11月にTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同しました。この提言に基づき、当社グループが地球温暖化・気候変動に対して、企業として認識しているリスクや機会、およびそれらに対する戦略や対応策を適切に情報開示してまいります。株主や投資家のみなさまが当社グループに対する投資において、よりの確にご判断できる開示内容とする

サステナビリティビジョンを策定

東洋インキグループは、近年の気候変動対応やカーボンニュートラル、SDGsへの取り組みに関する社会からの要請に対応すべく、CSR／サステナビリティ活動の実践的な長期目標としてサステナビリティビジョン「TSV2050／2030」を策定、2022年2月に発表しました。



地球温暖化を防止し、
想定される気候変動に
対応することは、
この地球に暮らす
私たち共通の課題です。

リオちゃん | 東洋インキグループ
オリジナルキャラクター

ることを目標にしています。現在、今夏発行予定の「統合レポート2022」においてグループ全体を対象範囲とした情報開示を行うため、気候変動が当社グループに与える影響の範囲や規模などについて情報収集と分析を進めております。

TSV2050／2030は、製品・サービス、環境負荷低減、企業基盤の3つの柱からなっており、2050年と2030年を目標年およびマイルストーンとしています。気候変動対応については、以下の2つの目標を掲げています。

◆2050年でのカーボンニュートラル達成

2030年
国内CO₂排出量
35%減（2020年比）
海外CO₂排出量
35%減（2030年BAU比）

2050年
生産活動によるCO₂排出量
実質ゼロにする
お客様の脱炭素化に
貢献する

※ BAU比：海外での事業成長に伴うCO₂排出量の増加に何の対策もしなかった場合に予測される排出量との比較

◆お客様の脱炭素化への貢献

素材メーカーとして低炭素な製品・サービスを供給し、お客様企業の低炭素化・脱炭素化に寄与する。

東洋インキグループサステナビリティビジョンについて詳しくは下記URLをご覧ください。

<https://schd.toyoinkgroup.com/ja/csr/group/tsv.html>



連結財務諸表の要旨

※記載金額は億円未満を四捨五入しています。

連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

科目	2020年12月31日現在	2021年12月31日現在
流動資産	2,141	2,236
固定資産	1,661	1,833
資産合計	3,802	4,069
流動負債	914	1,121
固定負債	715	678
負債合計	1,629	1,799
資本金	317	317
資本剰余金	325	325
利益剰余金	1,474	1,517
自己株式	△49	△98
その他の包括利益累計額	30	122
新株予約権	2	2
非支配株主持分	74	83
純資産合計	2,173	2,269
負債純資産合計	3,802	4,069

連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

科目	2020年度	2021年度
売上高	2,577	2,880
売上原価	2,005	2,293
販売費・一般管理費	443	457
営業利益	129	130
営業外収益	20	38
営業外費用	24	13
経常利益	125	154
特別利益	1	7
特別損失	26	30
税金等調整前当期純利益	100	131
法人税・住民税及び事業税	31	35
法人税等調整額	4	△0
非支配株主に帰属する当期純利益	5	2
親会社株主に帰属する当期純利益	60	95

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

科目	2020年度	2021年度
営業活動によるキャッシュ・フロー	167	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133	△176
財務活動によるキャッシュ・フロー	162	△120
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	16
現金及び現金同等物の増減額	194	△122
現金及び現金同等物の期首残高	538	731
現金及び現金同等物の期末残高	731	609

◎有利子負債の状況



◎1株当たり配当金



●期末配当金：1株につき45円(中間配当金45円と合わせ年90円)

●期末配当の効力発生日(支払開始日)：2022年3月24日

※1株当たり配当金は、2018年7月1日をもって実施しました株式併合の併合割合を勘案して、記載しております。

会社情報

会社概要 (2021年12月31日現在)

創業	1896 (明治29) 年1月
設立	1907 (明治40) 年1月15日
資本金	31,733,496,860円
発行済株式総数	60,621,744株
社員数	(連結) 7,887名 (単独) 402名

役員 (取締役) (2022年3月23日現在)

代表取締役会長	北川 克己
代表取締役社長	高島 悟
専務取締役	青山 裕也
常務取締役	濱田 弘之
取締役	金子 眞吾
取締役	小野寺千世
取締役	池上 重輔
取締役常勤監査等委員	平川 利昭
取締役監査等委員	横井 裕
取締役監査等委員	木村 恵子
取締役監査等委員	松本 実

グループ主要営業品目 (2021年12月31日現在)

有機顔料、加工顔料、プラスチック用着色剤、
カラーフィルター用材料、缶用塗料、樹脂、
接着剤、粘着剤、塗工材料、天然材料、
メディカル製品、グラビアインキ、フレキシソインキ、
グラビアシリンダー製版、オフセットインキ、
金属インキ、印刷機械、印刷機器、
プリプレスシステム、印刷材料、インクジェット材料

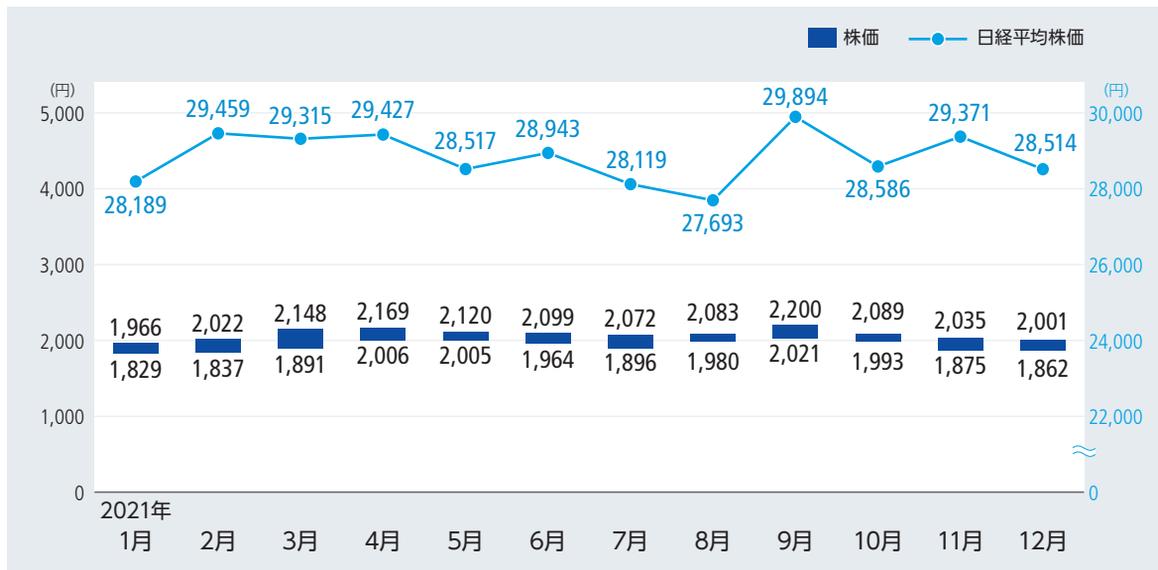
事業拠点 (2021年12月31日現在)

※太字 製造拠点含む

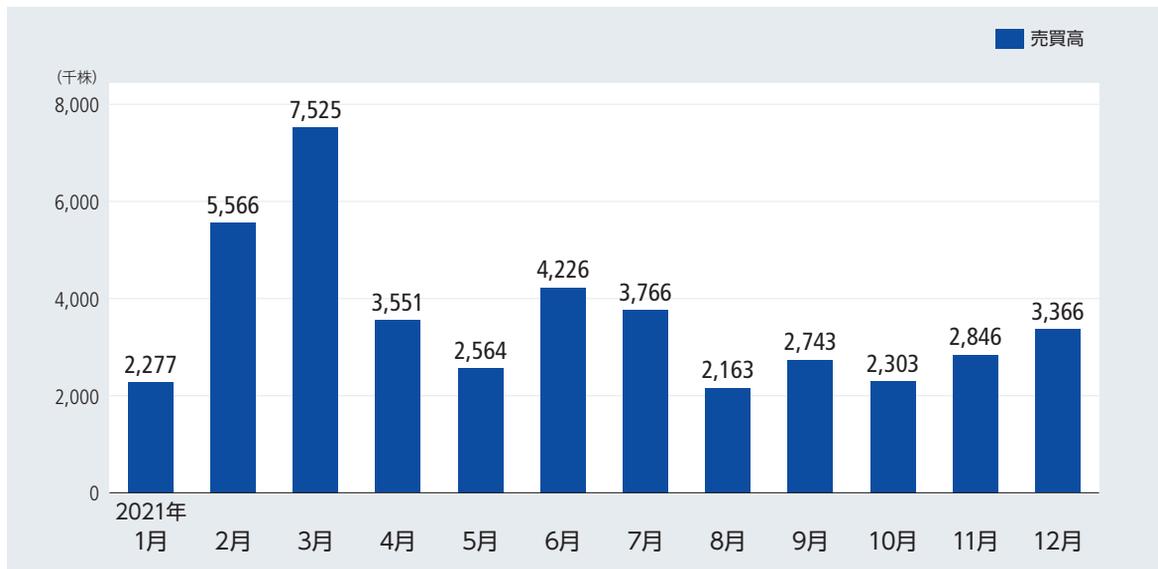
国内拠点所在地	札幌 千歳 仙台 京橋、十条(東京) 千葉 茂原 川口 坂戸 川越 東松山 比企郡 富山 新潟 名古屋 春日井 静岡 富士 守山 大阪 寝屋川 京都 神戸、姫路 尼崎 井原(岡山) 広島 高松 福岡 北九州 熊本
海外拠点所在地	アメリカ合衆国 ブラジル メキシコ フランス ベルギー イギリス ドイツ ハンガリー リトアニア トルコ 中華人民共和国 台湾 大韓民国 シンガポール タイ マレーシア ミャンマー フィリピン インドネシア ベトナム インド アラブ首長国連邦 モロッコ

株式情報

◎株価の推移 (東京証券取引所)



◎売買高の推移 (東京証券取引所)



◆大株主

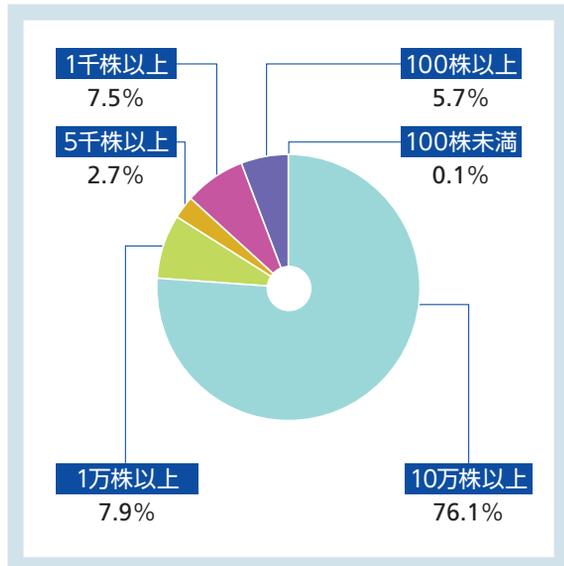
2021年12月31日現在

順位	会社名	持株数(千株)	議決権比率
1	凸版印刷株式会社	11,016	19.78%
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,548	9.96%
3	サカティンクス株式会社	2,335	4.19%
4	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,970	3.54%
5	株式会社日本触媒	1,661	2.98%
6	東洋インキグループ社員持株会	1,545	2.77%
7	SMBC日興証券株式会社	1,045	1.88%
8	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	899	1.62%
9	東洋インキ取引先持株会	891	1.60%
10	株式会社三菱UFJ銀行	753	1.35%

※自己株式4,775千株を除く。

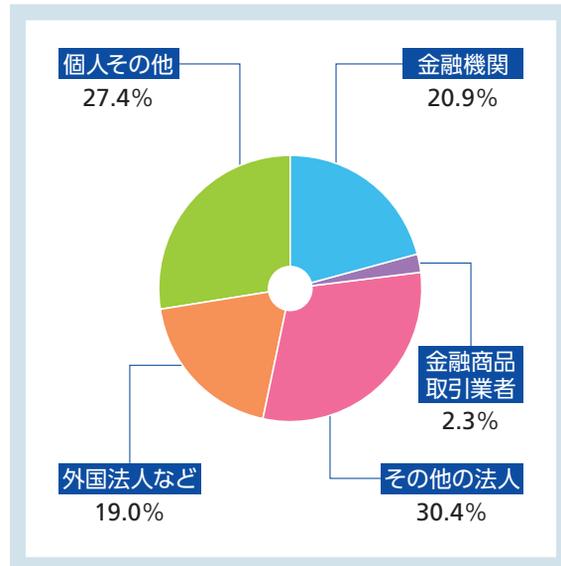
◆所有数別株式数比率

2021年12月31日現在



◆所有者別株式数比率

2021年12月31日現在



株式のご案内

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 ●定時株主総会・期末配当：毎年12月31日
●中間配当：毎年6月30日

株主名簿管理人

および

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

◎住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

◎未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

株主優待制度

2021年度より株主優待制度を拡充いたしました。

毎年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式を1年以上かつ200株以上継続保有する株主さまを対象に、保有株式数と継続保有期間に応じた優待品を、当社オリジナルカタログから1点お選びいただき、贈呈いたします。毎年9月下旬頃に当社オリジナルカタログを発送させていただきます。

東洋インキ SC ホールディングス株式会社

〒104-8377 東京都中央区京橋二丁目2番1号

この冊子に関するお問い合わせ先 グループ総務部 TEL.03(3272)5731
インターネットによるお問い合わせ先 <https://schd.toyoinkgroup.com>
E-mail info@toyoinkgroup.com



この報告書は、当社グループのTOYO KING® NEX NVシリーズを使用して印刷しています。
このインキは、バイオマス度40%以上で、石油系の揮発性有機化合物(VOC)を含まない環境にやさしいインキです。